

「無門関」の教え

目次

はじめに 山川宗玄 6

『無門関』に収録される古則・公案 12

一第五則一 香巖上樹 13

公案は不合理なもの／手も足も出ない公案／人はなかなか倒れない

一第六則一 世尊拈花 25

矛盾した話／非難される仏陀／花が笑う／おでこが光る人を探す

一第七則一 趙州洗鉢 39

真実に気付く瞬間／言葉と心がずれない人／火を使って火を探す／無用の親切は悟りを妨げる

一第十則一 清税孤貧 55

酒の臭いをさせて飲んでないという人／物の豊かさと心の貧しさ／美人の三条件

一第十二則一 巖喚主人 69

主人公——一人芝居の公案／言葉の魔力——狐のお兄さん／透き通る土

一第十三則一 徳山托鉢 83

最難関の問題／無駄を省く修行／耳の大きさと徳の大きさ

一第十四則一 南泉斬猫 95

猫を切つて人を救う／粥を捨てて人を救う／ざるで雨を受ける

一第十五則一 洞山三頓 105

悪口と痛棒で悟る／世間と違う常識／苦しみを耐えないと悟りは来ない

一第十六則一 鐘声七條 119

無意識の理由／辛い修行は仏陀のせい？

一第十七則一 国師三喚 129

宝が埋まる墓／本当に鳥と話した話／生まれ変わっても修行

一第十八則一 洞山三斤 141
壁や畳もみな仏？／体験に勝る知恵はない

一第十九則一 平常是道 153
答えないという答え／らしく、ぶるな／人を見て法を説く／雨でも雪でも好時節

一第二十則一 大力量人 171
力があっても何もできない人／内のものを外に探す／名人円朝の「桃太郎」／コロコロ変わる遺伝子情報

一第二十一則一 雲門屎橛 189
味のある「解りません」／これ以上ないひどい答え／隙間のないつきあい／本物の念仏

一第二十二則一 迦葉刹竿 207
金色に輝く顔／本当の「ハイ」という返事／譲ることができる人のみ生き残る

一第二十五則一 三座説法 223
論理を尽くしても解けない法／関山国師の為になる話／さあ、死ぬか

一第二十六則一 二僧卷簾 237
見たままが仏法／どちらが良くてどちらが悪い？／ジャズ演奏の真実

一第三十則一 即心即仏 255
坐禅して仏になれるか／「即」の意味／「即心即仏」と「非心非仏」／後世に何を残すべきか

一第三十一則一 趙州勘婆 271
補陀落信仰のこと／趙州和尚と恐ろしい婆さま／「真っ直ぐ行く」ということ

一第四十三則一 首山竹篋 289
たった二文の指導／本当の名前／火事見舞いの「おめでとう」／自分が変われば周囲が変わる

付録 310

本書に登場する禅林用語解説

本書に登場する僧名一覧

本書に登場する公案等の主な出典

あとがき

318